

[REAL TIMES は外国人地震情報センターが発信する、外国人支援者向け情報誌です。]
外国人地震情報センター：文責 田村 TEL: 06-941-4793 FAX: 06-941-5875

■おもな出来事 (95.8.17.~9.4.)

1. 第22回地元NGO/外国人救援ネット 8.21.
2. 第23回地元NGO/外国人救援ネット 8.31.
3. シンポジウム「阪神大震災から見えてきた外国人の権利」 9.1.

(全2ページ)

第23回地元NGO/外国人救援ネット

8月31日、中山手カトリック教会にて外国人救援ネットの第23回会議が行われた。

★ホットラインの開設

ホットラインの実施要綱が下記のようにまとまった。

日時：毎週水曜日・午後2時～8時 上曜日・午前11時～午後5時

対応言語：英語・中国語・スペイン語・タガログ語・ポルトガル語・ペルシャ語
韓国朝鮮語は定住外国人生活復興センター (078-575-6160) で対応。

9月13日 (水) から開始。

★肩代わり基金

医療費について、4ケースに一律10万円を支給する。また、弔慰金についても「肩代わり」の主旨と同じことから、在留資格によって差別されている3ケースについて、一律100万円を支給する方向。

★救援ネットの組織について

これまでの「ネットワーク」としての機能と、震災前はなかった「滞日」外国人のための救援センターとしての機能を併せ持つ。95年3月までは地元NGO救援連絡会議の1分科会として活動するが、その後も神戸における恒常的な外国人支援のためのセンターとして存続することを確認。

★記者会見

以上のような動きを受け、広く活動をアピールするために記者会見を開くこととなった。場所は中山手教会で、日時、内容は下記の通り。

9月11日 (月) 午後4時から

<内容> ホットラインの開設、肩代わり基金の支給報告、
外国人救援ネットの活動継続化について。

次回外国人救援ネットは、9月7日 (木) 午後2時から、
中山手カトリック教会にて。

9.1. シンポ「阪神大震災から見えてきた外国人の権利」

関東大震災から72年目の9月1日、災害時の外国人の権利についてのシンポジウムが東京で行われた。外国人を支援する市民団体と労働組合が初めて共同で開催したシンポジウムで、会場には外国人も数多く詰めかけた。

シンポジウムを経て、多言語による情報提供の確立や、災害救助における差別の禁止等を盛り込んだ「災害時における外国人の権利に関する声明文」を発表、採択された。

実行委員会では外国人の災害意識に関するアンケートも行った。アンケート結果と声明文については、震災被災者を支える東京連絡会（TEL: 03-3813-6584）までお問い合わせ下さい。

■外国人労働者法律人権電話相談■

大阪弁護士会と社会文化法律センターは9月8日（金）～10日（日）午後2時から8時まで、外国人労働者とその家族のための法律人権電話相談を行う。昨年も200件を超える相談があったが、日本人との結婚や子どもの国籍、親との関係などの相談が多く、今年もRINK（すべての外国人労働者とその家族の権利を守る関西ネットワーク）の後援で、8カ国語で同様の相談に応える。当日の電話番号は、06-321-8681。お問い合わせはRINK（TEL: 06-910-7103）まで。

■外国人地震情報センターからのお知らせ

残暑お見舞い申し上げます。

外国人地震情報センターは、震災の枠を超えて外国人住民との「共生」を考える市民団体として、活動を継続することを確認し、7月・8月はその移行期間として、組織の運営方法や事業内容の詳細について、「準備委員会」を設けて討議してきました。

7月19日に行った第1回準備委員会では、会員組織の移行にともなう組織作りを中心に話し合い、「プロジェクト」「組織」「広報」「会報」の4つの作業部会をもうけました。8月17日の第2回準備委員会では、各作業部会の報告をうけ議論をすすめました。当初は2回の準備委員会をもって9月1日に新組織としてスタートする予定でしたが、まだ議論を継続する必要があるとの判断から、第3回目の準備委員会を9月13日（水）午後7時から行い、最終的な活動計画をまとめ、下記の日程で新組織の発足総会を開催することとなりました。

非常に幅広い方々からのご支援とご協力のもと、これまで活動を続けて来れたことを幸せに思います。予定より約1カ月遅れてしまいましたが、ようやく発足に漕ぎ着けた私たちの新たな活動に、今後ともご理解を賜りますようよろしく御願いたします。

記

日時：9月28日（木）午後7時

場所：アビオ大阪203号室（JR森ノ宮駅下車すぐ）

議題：新組織の名称・会則の承認、年間活動計画・予算の承認

代表・事務局長・運営委員の選出、他。

*参加は無料です。

地元NGO救援連絡会議
外国人救援ネット
参加団体各位

外国人地震情報センター
TEL: 06-941-4793
FAX: 06-941-5875

第22回 地元NGO救援連絡会議の報告

8月21日、中山手カトリック教会にて外国人救援ネットの第21回会議が行われた。

★肩代わり基金

外国人地震情報センターから支給対象ケースについて報告があった。

医療費関連が4ケース、弔慰金関連が3ケース。いずれもこれまで判明していたケースであるが、医療機関の未収金の他でかかっている治療費の金額がいずれも不明。支給を急ぎたいが未確認のまま送金することにも慎重な意見が出ている。そこで、領収書などは発行され次第、送ってもらい、基本的には本人のサインのある申請書があれば、支給することにした。申請用のフォームを地震情報センターが制作し、次回提出する。

★ホットラインの運営

8月23日にボランティアのオリエンテーションを行い、通訳のスケジュールを決定する。森木さんの帰国を待って、9月13日に開始する。

広報活動については定住外国人生活復興センターと外国人地震情報センターと協力し、広報ツールなども共同で制作する。具体的な内容は23日に話し合う。

問題解決に向けて動ける人の確保が課題となるが、情報センターのタガログ語ボランティアで神戸在住の後藤さんに、水曜日と土曜日の相談日にパートで入ってもらう。長期的な待遇については、情報センターとも話し合う。

★組織と予算

4月以降の恒常的な救援ネットの開設に向け事業計画を立てるにあたって、予算を組む前に、場所・人・規模の明確化をすべきとの意見があがった。

諸事情を踏まえ、3月までの予算規模を500万円、4月からの年間予算を2000万円として、次回までに事業予算をたてることとした。場所は中山手教会からの無償提供を前提とせず、独自で事務所を借りて運営することを基本に、専従職員の給与も含む。また、2000万円のうち1000万円を本体運営費、残る1000万円は関係団体への助成にまわす。

次回、外国人救援ネットは、8月31日（木）午前10時から、中山手カトリック教会で行います。なお、第22回救援ネットは参加者が少なかったことと、さらに議論を深めるため、次回も同じ議題で話し合います。

- ・ 次回の議題：1) 肩代わり基金からの支給ケースの確認
- 2) 相談窓口開設へ向けた人員配置、問題解決チャンネルの確認
- 3) 組織的な取り組みについて
- 4) '95～'96の事業計画

* 「REAL TIMES」では公表しにくい内容ですので、別にしました。（全1ページ）